

事前評価書

年度	R3
整理番号	

事業名・路線名等		道路改良事業 主要地方道 <small>やまが いんない ひさし</small> 山香院内線 日指工区	事業主体	大分県
所在地		杵築市山香町大字日指 <small>ひさし</small>		
事業概要	事業の目的	当該区間は幅員狭小、線形不良のため、道路改良を行い、通行車両の利便性・安全性の向上及びネットワーク強化を図る。		
	事業内容	【計画延長・幅員】 L=140m、W=5.5(7.0)m 【道路区分】 第3種第4級 【設計速度】 V=30km/h 【計画交通量】 1570台/日(令和12年度) 【現況幅員・交通量】 W=4.7m 交通量 1570台/日(平成27年度センサス) 【重要構造物】 -		
	事業費	C=70百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から2年(令和5年度)		
	事業段階毎の実施計画	1年目 路線測量、詳細設計、用地測量 2年目 用地買収、道路工事		
事業の必要性	必要性・緊急性	本路線は、沿線住民の生活道路として利用されており、緊急輸送道路の1次ネットワークにも位置づけられている重要な路線であり、国道10号と宇佐別府道路の大分農業文化公園ICを結ぶインターアクセス道路でもある。沿線には二次救急医療機関(市立山香病院)があり、地域にとって重要な路線である。 また、速見JCT付近で発生する霧による通行止めに対する迂回路として有効な道路であるが、当区間は未改良となっており、車両の走行に対する安全性が確保されていない状況となっている。		
	整備効果	道路幅員が確保され、線形不良箇所も是正されることから交通車両及び地域住民の利便性・安全性が確保される。 また、緊急車両(消防・警察)の安全な通行性も確保され、一般国道10号と宇佐別府道路の大分農業文化公園ICを結ぶ広域ネットワークの整備により交流人口の増加も期待できる。		
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	幅員狭小区間の解消(一次改築)であり、防災面・交通安全の観点からも評価(参考B/C≒0.9)		
	工法の妥当性	・道路法、道路構造令等に適合した工法を採用		
	コスト削減	・アスファルト、砕石は再生材を利用		
	環境等への配慮	・現道拡幅であり、地形の改変による影響は小さい。 ・発生土は現場内流用、残土については他の公共事業へ流用する。 ・低騒音・低振動対応の建設機械の使用により、生活環境に配慮する。		
事業実施環境	事業の実効性	・杵築市より要望書が提出されており、地元からの早期事業化の期待は大きく、事業実施環境に問題はない。		
	事業の成立性	・道路法第15条に基づき事業を実施 ・「安心・活力・発展プラン2015(2020改訂版)」、「おおいた土木未来プラン2015(改訂)」、大分県長期道路整備計画「おおいたの道構想2015」に基づき事業実施		
	事業の特殊性	-		
対応方針		・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。		

事業箇所位置図

